

かみすげたささのおか

令和5年4月7日
上菅田笹の丘
小学校



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標
自分大好き 仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小



「夢の実現」

校長

世古 正樹

桜の花びらが舞う季節がやってきました。その花びらは、学年の始まりに期待と不安が入り交じる子どもたちを、優しく包み込んでくれています。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。本日、着任式・始業式、そして入学式を行いました。令和5年度は新生徒153名が入学し、在校生と合わせて児童数938名、学級数は38学級で上菅田笹の丘小学校4年目がスタートしました。

本校は、今年度も、学校教育目標「自分大好き 仲間大好き 心かがやく上菅田笹の丘小学校」の実現に向けて、子どもたちが、元気がいっぱい、笑顔がいっぱいで誰もが心かがやける学校を目指して、取り組んでいきます。5月の新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い、教育活動の制限もようやく緩和されていきます。この3年間、制限のかかっていた保護者の方や地域の方との連携・協働した内容も含めて、教育活動がより充実していくように、また、子どもたちが、たくさん学び、楽しく遊び、自分の成長を実感できる学校生活を送ることができるように、今年度も努めてまいります。

そのために、今年度も、子どもたちの「自己肯定感」を高めることを大切にしていきます。「自己肯定感」とは、「ありのままの自分を肯定する、好意的に受け止めることができる感覚」のことです。自分のよさに気づき、自分を大切にする気持ちを育てながら、他者（友達）のよさも認め、他者（友達）を大切にしていく、という好循環につなげていきたいです。昨年度、子どもたちには、「自分を好きになろう。そのために、自分のよいところをたくさん見つけよう。」と機会あるごとに話してきました。学習だけでなく、日常生活においても、子どもたちの「自己肯定感」を高められるように、教育活動を進めてまいります。ぜひ、ご家庭や地域におきましても、子どもたち一人ひとりのよさを見つめ、褒めて伝えていただければと思います。

さて、3月17日の卒業式で、最高学年としての自覚をもち、本校をリードしてくれた6年生が、中学校に向けて羽ばたいていきました。その卒業式で、私は「夢の実現」という言葉を卒業生に贈りました。「夢の実現」とは、自分の無限の可能性を信じ、自分の夢、つまり自分の実現したいことや自分のやりたいことを見つけ、その夢をかなえるために、自分の力を精一杯発揮し、全力を尽くすということです。自分自身の力を信じて、自分だけの「夢の実現」を目指して欲しいと話しました。本日の始業式でも子どもたちに「夢の実現」について話をし、「自分の可能性を広げていくために、いろいろなことに挑戦していこう。」と伝えました。今年度は感染症拡大予防のためにこれまで制限されたことやできなかったことにも取り組んで、子どもたちの可能性を広げていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も教職員一同、力を合わせて教育活動の一層の充実に向けて努力してまいります。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。